

高校世界史プリント（過去問類似）

近世（結びつく世界） No.9

名前

得点

/10

問1 13世紀に西アフリカのニジェール川流域に成立し、イスラーム教を受容して、都のトンプクトゥが交易や学術の中心地として繁栄した国は何か。（2009年 全国公立入試 類似）

1. ベニン王国 2. マリ王国 3. ソンガイ帝国 4. ガーナ王国

問2 イングランドのステュアート朝初代国王ジェームズ1世が、議会を無視した専制政治を正当化するために主張した、王の権力は神から授けられた絶対的なものであるとする政治理論は何か。（2006年 全国公立入試 類似）

1. 王権神授説 2. 自然法思想 3. 人民主権説 4. 社会契約説

問3 明代の中国では、長江下流域の蘇州などが綿織物業や製糸業などの商工業都市へと発展した。これに伴い、新たな穀倉地帯となった長江中流域の生産力の高まりを表現した言葉は何か。（2024年 全国公立入試 類似）

1. 蘇常熟すれば天下足る 2. 江浙熟すれば天下足る 3. 湖広熟すれば天下足る 4. 蘇湖熟すれば天下足る

問4 17世紀初頭、アジアにおける香料貿易の独占を狙うオランダは、ジャワ島西部に東インド会社の本部を置き、東南アジアにおける植民地支配の拠点となる都市を建設した。現在のインドネシアの首都ジャカルタの旧称にあたる、この都市はどこか。（2022年 全国公立入試 類似）

1. マカッサル 2. バタヴィア 3. アンボイナ 4. パレンバン

問5 17世紀末から18世紀初頭にかけてロシアを統治し、西欧化による近代化を強かに推進した皇帝は誰か。彼は貴族に対して伝統的なあごひげを剃ることを義務づけ、従わない者には税を課したほか、北方戦争の最中にバルト海沿岸に新首都を建設した。（2014年 全国公立入試 類似）

1. ピョートル1世 2. エカチェリーナ2世 3. ニコライ2世 4. アレクサンドル1世

問6 15世紀末にアフリカ南端を経由するアジアへの直接の海上ルートが開拓された結果、それまでムスリム商人やイタリア諸都市が主導していた東方貿易の構造が激変した。この航路開拓を推進した国家の首都であり、アジアから直接もたらされる香辛料の取引拠点として急速に繁栄を極めた都市の名称として最も適当なものを答えよ。（2018年 全国公立入試 類似）

1. セビリア 2. ベネチア 3. ジェノバ 4. リスボン

問7 16世紀前半、アペニン半島の支配権をめぐるハプスブルク家と激しく対立し、1519年の神聖ローマ皇帝選挙においても、スペイン王カルロス1世（のちの皇帝カール5世）の対立候補として立候補したフランス国王は誰か。（2024年 全国公立入試 類似）

1. フランソワ1世 2. スレイマン1世 3. エリザベス1世 4. フランソワ2世

問8 14世紀半ばにチャオプラヤ川下流域に成立したこの王朝は、隣国のアンコール朝を圧迫して衰退に追い込み、また朱印船貿易などを通じて日本とも深く交流した。18世紀にビルマ（ミャンマー）のコンバウン朝によって滅ぼされるまで、交易国家として繁栄した東南アジアの仏教王国は何か。（2006年 全国公立入試 類似）

1. クディリ朝 2. マタラム朝 3. クメール朝 4. アユタヤ朝

問9 1688年から1689年にかけての政変において、妻のメアリ2世とともにオランダから招かれ、共同統治者としてイギリス国王に即位した人物は誰か。（2016年 全国公立入試 類似）

1. チャールズ1世 2. チャールズ2世 3. ジェームズ2世 4. ウィリアム3世

問10 16世紀後半のスペインにおいて、1580年にポルトガルで王統が途絶えたことを契機に同国の王位を兼ね、広大な海外植民地を合わせて「太陽の沈まぬ国」と呼ばれる大帝国を現出させた国王は誰か。（2025年 全国公立入試 類似）

1. カール5世 2. フェリペ2世 3. シャルル9世 4. ヘンリ8世

答え合わせ・解説 No.9

問1	答え 2 マリ王国	13世紀に成立したこの国は、豊富な金を背景とした交易で繁栄し、メッカ巡礼で知られるマンサ・ムーサの時代に全盛期を迎えた。都のトンブクトゥにはモスクや大学が建てられ、イスラム文化の中心地となった。
問2	答え 1 王権神授説	ジェームズ1世は、国王の権力は神から直接授けられたものであり、地上のいかなる権力（議会や法など）にも拘束されないとする理論を強く信奉した。この思想は、のちの清教徒（ピューリタン）革命へとつながる議会との対立の背景となった。
問3	答え 3 湖広熟すれば天下足る	宋代には長江下流域の農業生産力の高さを表す「蘇湖（江浙）熟すれば天下足る」という言葉があったが、明代中期以降、同地域で手工業や商工業が発達して商品作物の栽培が盛んになると、穀物生産の中心は長江中流域へと移行した。この長江中流域（現在の湖北省・湖南省付近）を指す「湖広」の生産力を示す言葉として「湖広熟すれば天下足る」が使われるようになった。
問4	答え 2 バタヴィア	オランダは17世紀初頭に東インド会社を設立し、アジア貿易への本格的な進出を開始した。1619年、ジャワ島西部のジャカトラを占領してバタヴィアと改称し、ここに東インド会社の本部を建設した。バタヴィアは、香料貿易の独占や、イギリスなどの競合勢力を排除するための軍事・商業的拠点として機能し、のちのオランダ領東インドの首都となった。第二次世界大戦後にインドネシアが独立を宣言すると、名称はジャカルタに戻された。
問5	答え 1 ピョートル1世	ロシアの近代化を推進したピョートル1世は、西欧化政策の一環として貴族に伝統的なあごひげを剃ることを命じ、従わない者にはひげ税を課した。また、北方戦争中にバルト海沿岸を獲得し、新首都サンクトペテルブルクを建設して遷都した。
問6	答え 4 リスボン	15世紀末にヴァスコ・ダ・ガマがインド航路を開拓したことで、ポルトガルはアジアの香辛料貿易を直接掌握した。その結果、同国の首都であるリスボンは、従来の地中海貿易に代わる新たな大西洋・インド洋貿易の中心的拠点として急速に繁栄した。フィレンツェは毛織物工業や金融業で栄えたイタリアの都市であり、アドリアノーブル（エディルネ）はオスマン帝国の首都となった都市である。
問7	答え 1 フランソワ1世	16世紀前半のヨーロッパでは、主権国家の形成を背景に、フランス王家とハプスブルク家の対立が激化した。フランス国王フランソワ1世は、イタリアの支配権をめぐるイタリア戦争でハプスブルク家と対立したほか、1519年の神聖ローマ皇帝選挙にも立候補してスペイン王カルロス1世（カール5世）と帝位を争ったが、敗れた。
問8	答え 4 アユタヤ朝	14世紀半ばにタイのチャオプラヤ川流域に成立したアユタヤ朝は、カンボジアのアンコール朝を圧迫し、また日本との朱印船貿易やヨーロッパ諸国との交易で繁栄した仏教王国である。18世紀にビルマのコンバウン朝の侵攻によって滅亡した。他の選択肢として想定されるベトナムの統一（阮朝）は19世紀初頭、ポロブドゥール建立（シャイレンドラ朝）は8～9世紀の出来事である。
問9	答え 4 ウィリアム3世	ジェームズ2世の専制政治に対し、議会はオランダ総督ウィレム3世とその妻メアリを招聘した。彼らはイギリスに上陸し、ジェームズ2世をフランスへ亡命させた後、共同王位に就いた。この政変は流血を伴わずに達成されたため、名誉革命と呼ばれる。
問10	答え 2 フェリペ2世	1580年にポルトガル王家が断絶した際、母方がポルトガル王家出身であったスペイン国王が同国の王位を兼ねた。これにより、スペインとポルトガル双方の海外植民地が同一の君主のもとに統合され、領土に太陽が沈むことがないという意味で「太陽の沈まぬ国」と称される全盛期を迎えた。この国王がフェリペ2世である。